

会 議 記 録

会 議 名 称		杉並区里親フォスタリング業務受託者候補者選定委員会（第1回）
日 時		令和7年10月27日（月）18時～20時
場 所		杉並区役所分庁舎5階会議室
出席者	委員名	医療法人社団 千実会 あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏 NPO 法人 東京養育家庭の会 副理事長 高木 功雄 氏 日本医療大学通信教育部総合福祉学部 ソーシャルワーク学科 教授 森和子 氏 子ども家庭部長 松沢 智 氏 子ども家庭部管理課長 倉島 恭一 氏
	事務局職員	子ども家庭部児童相談所設置準備課長 三浦 恵利子 子ども家庭部児童相談所設置準備管理係長 吉田 仁 子ども家庭部児童相談所設置準備課 笹山 雄也 子ども家庭部児童相談所設置準備課 奥野 花菜
配布資料	事前	
	当日	資料1 杉並区プロポーザル選定委員会条例 資料2 選定委員会名簿 資料3 選定スケジュール（案） 資料4 杉並区里親フォスタリング業務公募型プロポーザル実施要領（案） 資料5 杉並区里親フォスタリング業務受託者候補者選定に係る審査基準（案） 資料6 第一次・第二次審査評価表（案） 資料7 杉並区里親フォスタリング業務の受託者候補者の選定について（諮問）
会議次第		1 子ども家庭部長あいさつ 2 委員紹介、会長及び職務代理者の選任 3 スケジュール（案）について 4 実施要領（案）について 5 評価基準（案）について 6 その他

会議の結果及び 主要な発言	会長は秋山委員となった。職務代理者は森委員となった。 事務局から委託業務内容、実施要領（案）及び評価基準（案）、今後の進め方について説明を行った。 受託者候補者を令和8年2月までに選定するため、各委員からの意見を聴取し、本日、実施要領及び評価基準を確定するよう説明した。 ○主な意見 【業務内容説明書】 ・配置する職員の要件を分けて記載した方が良いとの意見があった。 【企画提案書の作成について】 ・職員による不適切な対応が起こってしまった場合の対策について記載した方が良いとの意見があった。 【第1次審査評価基準について】 ・危機管理対策についての配点を上げた方が良いとの意見があった。 各委員からの意見、質疑を踏まえて、実施要領（案）の業務内容説明書の「運営体制」の表記を修正した。また、職員による不適切な対応があった際の対策を企画提案書に記載するよう修正することとし、選定委員全員の了承を得た。 次回の開催について 令和7年12月22（月）18時00分～ 杉並区役所 西棟6階第6会議室
--------------------------	---

会 議 記 録

会 議 名 称		杉並区里親フォスタリング業務受託者候補者選定委員会（第2回）
日 時		令和8年3月 13 日（金） 18 時～20 時
場 所		杉並区役所分庁舎5階会議室
出席者	委員名	医療法人社団 千実会 あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏 NPO 法人 東京養育家庭の会 副理事長 高木 功雄 氏 日本医療大学通信教育部総合福祉学部 ソーシャルワーク学科 教授 森和子 氏 子ども家庭部長 松沢 智 氏 子ども家庭部管理課長 倉島 恭一 氏
	事務局職員	子ども家庭部児童相談所設置準備課長 三浦 恵利子 子ども家庭部児童相談所設置準備管理係長 吉田 仁 子ども家庭部児童相談所設置準備課 笹山 雄也 子ども家庭部児童相談所設置準備課 奥野 花菜
配布資料	事前	
	当日	資料1 選定委員会名簿 資料2 選定スケジュール（案） 資料3 選定スケジュール（案）新旧対照表 資料4 杉並区里親フォスタリング業務公募型プロポーザル実施要領（案） 資料5 杉並区里親フォスタリング業務公募型プロポーザル実施要領（案）新旧対照表 資料6 杉並区里親フォスタリング業務受託者候補者選定に係る審査基準（案） 資料7 第一次・第二次審査評価表（案）
会議次第第		1 第2回選定委員会の開催について 2 スケジュール（案）について 3 実施要領（案）について 4 審査基準（案）について 5 その他

会議の結果及び 主要な発言	事務局から実施要領に基づき公募を行ったが、応募事業者がなかったため、再度公募する旨を伝える。 また、再公募にあたって、修正した実施要領（案）及び選定スケジュール（案）について説明を行った。 各委員からの意見を聴取し、再公募に係る実施要領及び評価基準を確定した。 ○委員からの主な意見 【業務内容説明書】 ・里親訪問等支援業務において、委託事業者職員が子どもの所属する保育園、学校等を訪問することを必須としてはどうかと意見があった。 各委員からの意見、質疑を踏まえて、実施要領（案）の業務内容説明書の「業務報告」の表記及び企画提案書の記載を修正することとし、選定委員全員の上承を得た。 次回の開催について 令和8年6月1日（月）18時～ 杉並区役所西棟 6 階第7会議室
--------------------------	---

会 議 記 録

会 議 名 称		杉並区里親フォスタリング業務受託者候補者選定委員会（第3回）
日 時		令和8年6月1日（月）18時～20時
場 所		杉並区役所本庁舎西棟 6 階第7会議室
出席者	委員名	医療法人社団 千実会 あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏 NPO 法人 東京養育家庭の会 副理事長 高木 功雄 氏 日本医療大学通信教育部総合福祉学部 ソーシャルワーク学科 教授 森和子 氏 子ども家庭部長 松沢 智 氏 子ども家庭部管理課長 田森 亮 氏
	事務局職員	子ども家庭部児童相談所設置準備課長 三浦 恵利子 子ども家庭部児童相談所設置準備管理係長 吉田 仁 子ども家庭部児童相談所設置準備課 笹山 雄也 子ども家庭部児童相談所設置準備課 奥野 花菜 子ども家庭部児童相談所設置準備課 木村 萌衣 子ども家庭部児童相談所設置準備課 堀内 慶子
配布資料	事前	
	当日	資料1 審査基準（案） 資料2 第一次審査集計結果 資料3 第一次審査結果通知（案） 資料4 第二次審査タイムスケジュール（案） 資料5 第二次審査評価表（案） 資料6 ヒアリング質問（案） 資料7 選定スケジュール 資料8 選定委員名簿
会議次第		1 第一次審査結果の確認について 2 第二次審査について （1）第一次審査結果通知 （2）タイムスケジュール （3）評価表及び質問項目 3 その他

会議の結果及び 主要な発言	1 第一次審査結果の確認 応募があった1事業者について各委員による第一次審査（書類審査）を実施し、事務局において集計を行った結果、配点合計の6割以上の点数であったため、選定委員の合意の上、第一次審査通過者として決定した。 2 第二次審査について 事務局より、第一次審査結果通知、タイムスケジュール、評価表及び質問項目等の（案）について、説明を行った。 ○委員からの主な意見 ・タイムスケジュールのヒアリング、質疑応答の時間を案で示された時間より長くしてほしい。 各委員からの意見、質疑を踏まえて、第二次審査タイムスケジュールを修正した。 次回の開催について 令和8年6月15日（月）18時～ 杉並区役所西棟6階第7会議室
--------------------------	--

会 議 記 録

会 議 名 称		杉並区里親フォスタリング業務受託者候補者選定委員会（第4回）
日 時		令和8年6月15日（月）18時～20時
場 所		杉並区役所本庁舎西棟 6階第7会議室
出席者	委員名	医療法人社団 千実会 あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏 NPO 法人 東京養育家庭の会 副理事長 高木 功雄 氏 日本医療大学通信教育部総合福祉学部 ソーシャルワーク学科 教授 森和子 氏 子ども家庭部長 松沢 智 氏 子ども家庭部管理課長 田森 亮 氏
	事務局職員	子ども家庭部児童相談所設置準備課長 三浦 恵利子 子ども家庭部児童相談所設置準備管理係長 吉田 仁 子ども家庭部児童相談所設置準備課 笹山 雄也 子ども家庭部児童相談所設置準備課 奥野 花菜 子ども家庭部児童相談所設置準備課 堀内 慶子 子ども家庭部児童相談所設置準備課 木村 萌衣
配布資料	事前	
	当日	資料1 第二次審査タイムスケジュール 資料2 審査基準 資料3 第二次審査評価表 資料4 ヒアリング質問案 資料5 第一次審査集計結果
会議次第		1 第二次審査の進行について 2 第二次審査について （1）プレゼンテーション・ヒアリング （2）採点 3 受託者候補者の選定 4 その他

会議の結果及び 主要な発言	1 第二次審査の進行について 事務局より、本日の進行及び第一次審査及び第二次審査の各委員の採点結果をもとに本選定委員会の受託者候補者を選定する旨、説明を行った。 2 第二次審査について 事業者へヒアリングを実施し、審査を行った。 【主な質疑】（「・」は委員の発言、「→」は事業者の回答を示す） ・フォスタリング機関に求められる役割について、最も重要と考えている点は何か。 ⇒委託前の段階から、里親と信頼関係を丁寧に築き、いつでも相談できる関係性の構築が大切だと考えている。 ・里親等や子どもとの信頼関係を築くために、具体的にどのようなことに取り組むか。 ⇒里親サロンや家庭訪問の際等、里子と関わる機会を増やしたい。 ・里親等を支援するにあたって必要な連携をどのように考えているか。 ⇒特に里親支援専門相談員との関係構築を丁寧に行い、里親の悩み等についてフォスタリング機関も一緒に考えていくようにしていきたい。 ・提案内容のリクルートを実施することで、どのような効果が生まれると考えているか。 ⇒制度説明の機会を増やすこと等によって、里親制度のことを少しでも多くの人に知ってもらい、里親登録する人が増えると良いと考えている。 ・企画提案書に記載されている「家庭の強みや課題など共有し、課題の改善を目指す」を具体的にどのように行うのか。 ⇒家庭訪問を通じて、普段の面談やサロンでは話しにくい受託に対する思いや希望条件を丁寧に聞き取ることで、受け入れ条件の幅が広がり、結果としてマッチングの可能性が高まることが期待できると考える。 ・交流中の里親家庭と関わる中でどのようなサインを「注意すべき兆候」として捉え、どのような対応をとるか。 ⇒疲労や負担の様子がうかがえた際には丁寧に状況を確認し、利用可能な支援サービスの活用等を提案し、養育を継続できるよう一緒に対応策を考えていきたい。 ・実子を含む里親家庭への支援は、特にどのような配慮が必要と考えているか。 ⇒実子の気持ちを早い段階から丁寧に聞き取り、必要に応じて里親と実子だけの時間を確保するなどの支援が必要だと考える。
--	--

・委託児童の自立に向けた支援で、最も重要と考えていることは何か。
⇒委託された時期によって、支援の方法やかかわり方は調整する必要があると考えている。自立支援担当の職員が関係を築きながら自立に必要な情報を提供する等してサポートする必要があると考えている。

・情報セキュリティ対策として、どのような取り組みをしているか。
⇒オンラインストレージサービスを利用し、ID・パスワードを持つ担当職員と事務担当者のみがアクセスできるよう制限している。
紙媒体の個人情報を持ち運ぶ必要がある場合は、鍵付きメールバッグを使用している。

・職員に退職、異動が生じた際の対応体制においてどのような工夫をしているか。
⇒なるべく複数名で対応するように心がけている。

・日々の業務や緊急対応、要望苦情などに組織的に対応するうえで、日ごろから取り組もうと考えていることがあるか。
⇒児童相談所内が執務室となるため、児童相談所が定める手順やルールに沿って適切に対応したい。また、所外での緊急事態に備えた対応を事前に整理し、マニュアル等を作成しておく必要があると考える。

3 審査、受託者候補者の決定

一次審査及び第二次審査の得点の合計点が、配点総合計の6割以上の点数を得ており、選定委員の合意の上、本事業者を受託者候補者として選定し、区へ報告した。